

# 県下 J A の平成 2 9 年度決算の概要

平成 30 年 5 月 23 日  
静岡県農業協同組合中央会

## 1. 損益の状況

～ 経常利益 100 億円、全 J A が黒字 ～

(単位:百万円)

	29年度	前年比		
		前年比	比率	
事業総利益	76,638	▲ 2,250	97.1%	(一般企業の売上総利益に該当)
うち信用	39,447	▲ 1,808	95.6%	(貯金の受入、資金の融資)
共済	24,113	545	102.3%	(共済商品の取扱)
購買	7,807	▲ 370	95.5%	(農業生産資材、生活資材の販売)
販売	3,867	▲ 177	95.6%	(農畜産物の販売)
加工	878	▲ 104	89.5%	(茶など農産加工品の販売)
指導	▲ 1,374	▲ 169	-	(農業の経営・栽培技術向上のための指導)
事業管理費	70,045	▲ 1,348	98.1%	(一般企業の販売費・一般管理費に該当)
事業利益	6,594	▲ 903	88.0%	
経常利益	10,011	▲ 750	93.0%	
税引前当期利益	9,615	▲ 504	95.0%	
当期剰余金	7,100	▲ 98	98.6%	

### (1) 事業総利益は 766.4 億円、前年比 97.1%と 22.5 億円の減益

一般企業の売上総利益に当たる事業総利益が 766.4 億円（前年比 97.1%、22.5 億円減）と 4 期連続の減益となった。

#### ① 信用事業

金利の低下等により貸出金利息が 14.2 億円、28 年度有価証券の売却が多く有価証券利益が 2.4 億円減少したため、信用事業総利益は 394.5 億円（前年比 95.6%、18.1 億円減）となった。

② 共済事業

奨励金等が 4.2 億円減少した一方、長期共済新契約高の増加により共済付加収入が 8.7 億円増加したため、共済事業総利益は 241.1 億円（前年比 102.3%、5.5 億円増）となった。

③ 購買事業

給油所の業務委託による石油類（生活）の供給高の減少等により購買事業総利益は 78.1 億円（前年比 95.5%、3.7 億円減）となった。

④ 販売事業

お茶、野菜の単価が昨年を上回った一方、みかんが裏年により販売品販売・取扱高が減少したため、販売事業総利益は 38.7 億円（前年比 95.6%、1.8 億円減）となった。

⑤ 指導事業

事業総利益、事業利益ともに減益となっているが、組合員の農業所得向上に向けた営農指導の支出は 2.1 億円増加しており、指導事業総利益は▲13.7 億円（1.7 億円減）となった。

(2) 事業利益は 65.9 億円、前年比 88.0%と 9.0 億円の減益

事業管理費は 700.5 億円（前年比 98.1%、13.5 億円減）となり、事業利益は 65.9 億円（前年比 88.0%、9.0 億円減）と減益となった。

(3) 経常利益は 100.1 億円、前年比 93.0%と 7.5 億円の減益

(4) 税引前当期利益は 96.2 億円、前年比 95.0%と 5.0 億円の減益

(5) 当期剰余金は 71.0 億円、前年比 98.6%と 1.0 億円の減益

## 2. 主要事業量

(単位:百万円)

	29年度実績	前年比		全国順位
		増減	比率	
貯金	5,266,103	94,934	101.8%	4
預金	3,818,426	132,391	103.6%	-
貸出金	1,287,945	▲ 13,281	99.0%	3
有価証券	316,143	▲ 23,006	93.2%	-
長期共済保有高	14,995,326	▲ 299,639	98.0%	2
長期共済新契約高	2,037,474	939,291	185.5%	1
購買品供給高	52,639	▲ 1,082	98.0%	-
販売品販売・取扱高	91,212	▲ 1,668	98.2%	-
(うちファーマーズマーケット等)	12,495	101	100.8%	-
(うち買取販売高)	3,738	85	102.3%	-
製品販売高	6,926	151	102.2%	-

### (1) 信用事業

貯金は5兆2,661億円で前年比101.8%、949億円の増加、一方貸出金は1兆2,879億円で前年比99.0%、133億円の減少となった。

なお、全国順位では貯金は愛知県、神奈川県、兵庫県に次ぐ4位、貸出金は神奈川県、愛知県に次ぐ3位の実績となった。

### (2) 共済事業

長期共済保有高は14兆9,953億円で前年比98.0%、2,996億円の減少、長期共済新契約高は、2兆375億円で前年比185.5%、9,393億円の増加となった。

なお、全国順位では保有高は愛知県に次ぐ2位、新契約高は1位の実績となった。

### (3) 購買事業

購買品供給高は526億円で前年比98.0%、11億円の減少となった。

これは単価の上昇による石油類(生産)3.9億円の増加があったものの、給油所の業務委託により石油類(生活)が5.3億円、茶園面積減少等により肥料が2.5億円、農薬が2.2億円減少したことによる。

### (4) 販売事業

販売品販売・取扱高は912億円で前年比98.2%、17億円の減少となった。

これは、お茶が6.6億円、野菜が5.2億円増加した一方、みかんが裏年のため22.0億円減少したことによる。

### 3. 財務の健全性

#### (1) 不良債権への対応 ～不良債権比率は0.10ポイント改善～

不良債権額は14.6億円減少し、149.1億円となった。不良債権比率（リスク管理債権比率）は、1.15%となり前年比0.10ポイント改善した。

なお、不良債権に対しては、担保や貸倒引当金により十分な保全が図られている。

#### 不良債権の状況

（単位：百万円）

	貸出金残高	不良債権額	不良債権の内訳				不良債権比率
			破綻先	延滞	3ヶ月以上延滞	貸出条件緩和	
県下合計	1,288,042	14,912	371	14,099	0	441	1.15
対前年増減	▲ 13,183	▲ 1,460	▲ 7	▲ 1,413	0	▲ 40	▲ 0.10
対前年比(%)	99.0	91.1					

#### (2) 自己資本比率 ～県下平均は17.59%～

県下JAの自己資本比率の平均は17.59%となり前年比0.08ポイント低下した。しかし、最も低いJAでも14.28%と高い水準を確保しており、国内基準の4%を大きく上回っている。

#### <県下17JA>

伊豆太陽	三島函南	伊豆の国	あいら伊豆	なんすん	御殿場
富士市	富士宮	しみず	静岡市	大井川	ハイナン
掛川市	遠州夢咲	遠州中央	とぴあ浜松	みっかび	